

教員採用試験の練習が本格化

<論作文指導>

昨年度から始まった「論作文直前講座（全3回）」は、受験する自治体の過去問を中心に、試験と同じ時間で書き、その場で添削してもらう講座です。それまでに、基礎講座や演習講座に参加した学生はある程度ですが、初めてこれに参加した学生は四苦八苦です。事前の練習の重要性を痛感したのではないのでしょうか。



<面接練習>

面接練習は、4月から15週に渡って行います。最初は、たどたどしい回答だったのが、回数を重ねることで徐々に滑らかになっていきます。また、初めのうちは自分に関する質問なので答えやすいのですが、後半に入ると教育課題や場面指導の質問も出て友だちの回答を真剣に聞いて、自分のものにしていく姿が見られます。今年度は外部（元小学校長）の方にも協力をいただき、面接練習を行いました。



<模擬授業>

採用試験の模擬授業は導入の10分間（神奈川県や相模原市）ということで、試験用の練習が欠かせません。今年度も、採用試験直前に子ども教育学科の宗野先生、柳先生、成家先生が講座として集中的に模擬授業の指導をしてくださいました。もちろん、教職センターでも自治体の特色を踏まえて、グループ・個別に行っています。

